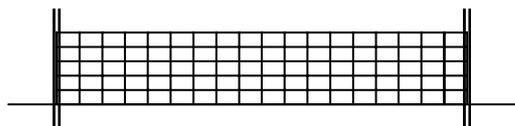


ネットがタテ縞になっている理由^{わけ}

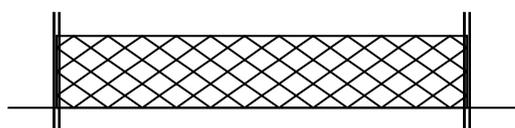
《ダイニーマ柵は何故タテ縞になっているのでしょうか？》

—— その秘密はネットの構造上の問題にあったのです ——

通常、金網や柵を設置するときはしっかりとピンと張るのが常識です。

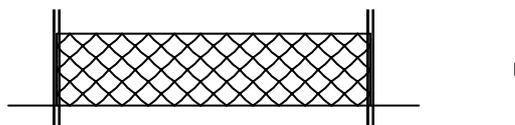


しかし、ネットのような元々柔らかいものをピンと張るとテンションがかかり、外部からの衝撃を吸収できずに切れやすくなります。



テンションが張っていると外部の衝撃を吸収できず切れ易い

規定の高さと横の長さに対してネットの目数が適正に張られれば、最適なネットの張りが得られます。



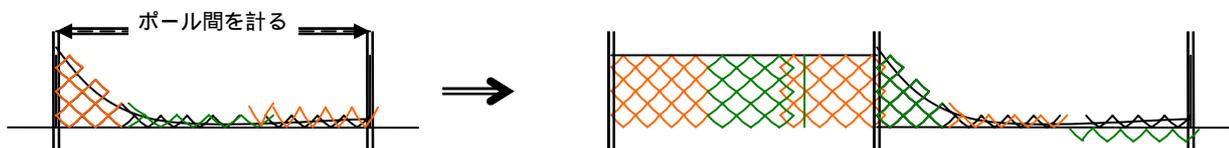
テンションに若干緩みがあると外部の衝撃を吸収でき切れにくい

そこで、弛みがなくネットを最適に張れるようにしたのがネットにタテ縞になっている秘密です。

それは、1 m間隔で色を変えているため、横の長さに適してネットの目数がわかり、適正にネットが張ることができるのです。

このことにより、ネット張りの作業性とネットの防獣効果は飛躍的にアップするのです。

上記のような理由により、ネットで防獣効果を最大限に発揮するためには、次にネットを張るポール間の長さを計りながらネットの長さを出してネットを貼っていくことをお奨めします。



網を張る前にポール間長さを計ります。
(ポール間が3 mだったとします)

ポール間の長さに合わせてネットの縞の数を合わせます。(ポール間が3 mであった場合は3つのタテ縞をポール間に入れるようにします。)

左記の、の要領を繰り返して張っていきます。こうすることによって、最適なネットの張り具合ができ、防獣効果を最大限に発揮できます。